

「風疹」にご注意を ～これから妊娠を考えている方へ～



医療法人
岡村一心堂病院

よりよい医療を
地域の人々に

岡山市東区西大寺南 2-1-7
Tel 086-942-9900

URL : <http://www.isshin.or.jp/>
E-mail : info@isshin.or.jp

「風疹」にご注意を ～これから妊娠を考えている方へ～

医療技術部長 森安 節子

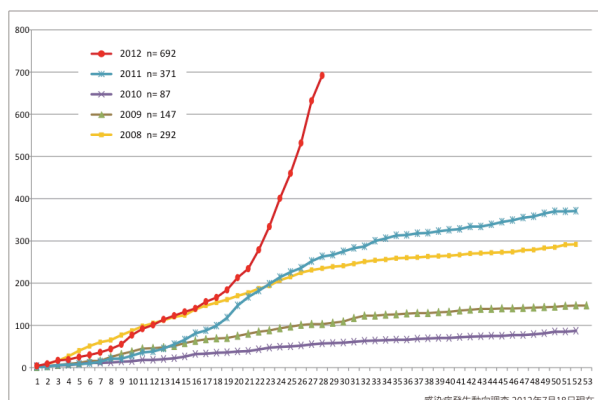
2012年6月頃より兵庫・大阪を中心とする近畿地方と東京・神奈川を中心とする関東地方で「風疹」が流行し、7月に入り患者数が急増しています（下図の赤線が2012年です）。

風疹は春先から初夏にかけて多くみられ、患者さんの咳やくしゃみなどの唾液の飛沫によって感染します。主な症状として発疹・発熱・リンパ節の腫れが認められます。子どもの症状は比較的軽く、まれに脳炎や血小板減少性紫斑病などの合併症がおこります。大人は発熱や発疹が子どもに比べて長引いたり、関節痛がひどいことが多いとされています。大人の中でも妊婦、特に妊娠12週頃までの妊娠初期に風疹にかかると胎児が風疹ウィルスに感染して、難聴・心疾患・白内障・精神や身体の発達の遅れ等の障がい（＝先天性風疹症候群と言います）をもった赤ちゃんが生まれる可能性があります。これから妊娠を考えられている方は風疹に対する免疫（抗体）が不十分な場合は早めに予防接種を行いましょう。注意点として、妊娠中は風疹の予防接種はできません。また予防接種後2ヶ月間は避妊が必要です。

妊婦を風疹から守るには、家族の協力も必要です。家庭内の感染を防ぐためにも、子どもが1歳になったらすぐ麻疹風疹混合ワクチン（MRワクチン）を接種しましょう。さらに夫も自ら感染して家庭内に風疹を持ち込むことのないようにしてください。1995年以前は風疹の予防接種は女子中学生のみが対象であったため、現在30～50歳代前半の男性の5人に1人は風疹に対する免疫を持っていないという調査結果もでています。「子どもの頃に風疹にかかった」と思われている方の半数は記憶違いや風疹に似た他の病気と言われているので、確実に予防接種をした記録がない場合は、風疹抗体が低値ならば早めの予防接種をおすすめします。

【公費負担によるMRワクチン定期予防接種対象者】

1歳児（第1期）、小学校入学前1年間の幼児（第2期）、2012年度に中学1年生（第3期）、高校3年生に相当する年齢の者（第4期）



【上記以外は任意接種（全額自己負担）です】

当院 風疹抗体検査料金 5,345円

当院 MRワクチン接種料金 11,210円

要予約です。詳しくは受付にお尋ねください。

← 国立感染症研究所のデータです。

22週目（6月）より増加のスピードが速まり、昨年1年間の2倍もの患者数となっています。

内容については発行した時点のもので、現状とは違うことがあります。